ベルギー・ルクセンブルグ市場協議会
(Belgo-Luxembourg Market Council)

発行 202611 月 17 日
ニュースレター第 11 号

＜目次＞

p. 1　・・・BLMC 会員の皆さまへご挨拶
p. 1-4　・・・ハブ・ブラッセル 総代表マティアス・デブロイヤー氏へのインタビュー
p. 4　・・・会員様の情報
p. 5-9　・・・大使館・各団体からのお知らせとニュース

BLMC 会員の皆様

早いもので、今年も年の瀬が少しずつ近づいてまいりました。皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

今回のニュースレターは、ハブ・ブラッセルのブリュッセル首都圏の総代表マティアス・デブロイヤー氏にインタビューを行いました。

― hub.brussels 総代表マティアス・デブロイヤー氏―



-今日は貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございます。まずは、現在のお仕事について簡単にご紹介いただけますか。

もちろんです！私は hub.brussels のブリュッセル首都圏日本担当総代表を務めています。私の主な使命は、ブリュッセルと日本間の貿易と投資を促進することです。hub.brussels はブリュッセル起業支援機関であり、ブリュッセル企業の海外輸出を支援し、日本企業のような海外投資家のブリュッセルへの定住も支援しています。hub.brussels は、東京のベルギー大使館を含む国際的なオフィスネットワークを持っています。

-この夏に上海から東京に異動されたとお聞きしておりますが。

はい、前任者のウィリアム・デルセム氏から非常にスムーズな引き継ぎを受けて、まだ２ヶ月弱ですね（このインタビューは 9 月 10 日に実施）。実は、初来日は去年の東京マラソンでした。日本に住んで働くのは今回が初めてですが。

-そうだったのですね！東京マラソンはいかがでしたか？

最高でしたよ。東京マラソンは世界の８大マラソン大会の一つであり、多くのマラソンランナーのバケットリストに入っています。参加はかなり難しいですが、幸運にも初挑戦で出場のチャンスをつかむことができました！　晴れていて、街には明るくポジティブな雰囲気があふれていました。なかなか想像しにくいかもしれませんが、マラソ

ンは街の新たな魅力を発見する絶好の機会でもあります。沿道の観客やボランティアの皆さんからの心温まる声援が、とても印象に残っています。

-それは本当に良かったですね！マラソンは以前からお好きだったのですか？
はい、これまでに４回マラソン大会に参加しています。スポーツは私の人生において重要な役割を果たしてきました。柔道も若い頃に通算 11 年間続けました。柔道を通じて、身体的な技術だけでなく、規律や他者への敬意も身につけました。その教訓は今でも仕事や日常生活に生かされていると思います。

-11 年間も柔道を続けてこられたのですね。礼儀や相手を尊重する姿勢は、仕事にも通じるものがありそうですね。ところで、今年はベルギーと日本にとっては特別な年ですね。
まさにですね。今年はベルギーと日本の外交関係樹立 160 周年にあたり、両国にとって大きな節目の年となります。就任して最初の週、名古屋の栄町ショッピングモールで開催された夏祭に参加しました。これはブリュッセルで最も有名なショッピング街、アヴェニュー・ルイーズとの姉妹パートナーシップによるものです。愛知県知事と名古屋市長にお会いできて嬉しかったです。日本での私の使命の非常に素晴らしいスタートでした。



-着任早々、積極的に活動されていらっしゃいますね。
もちろんです。私たちの使命は、市場に関する信頼できる情報を提供し、ビジネスチャンスの探求と認知度を高め、信頼できるパートナーのネットワークを構築して交流を促進し、日本やブリュッセルでの企業の成功に同行することです。EU-日本協力の深化とベルギーと日本の優れた貿易・投資関係により、デザインから観光、産業機器、研究開発、健康に至るまで、多くの分野で多くの活動が行われています。また、ブリュッセルへのオフィス設立に関心を寄せる日本企業も増えています。

-なるほど。企業が EU 市場に進出するうえで、情報面でも実務面でも重要な役割をになっていらっしゃるのですね。ベルギーは日本からの直行便もあり、EU 市場への進出拠点としても注目されています。
おっしゃる通りです。ブリュッセルに拠点を持つことは大きな利点があります。ブリュッセルは、直行便があるため日本とのアクセスが非常に良いだけでなく、ヨーロッパの主要都市との交通の便にも優れています。ブリュッセル空港からは、170 を超える目的地への直行便が運航しています。また、ブリュッセルはヨーロッパ最大の鉄道交通の拠点であり、アムステルダム、パリ、ロンドンといったヨーロッパの主要都市へ、2 時間以内で行くことができます。
さらに、ブリュッセルはヨーロッパの中心部という戦略的に重要な場所に位置しているため、欧州市場に進出するための理想的な玄関口でもあります。EU（欧州連合）の単一市場は非常に大きく、消費者は約 4 億 5,000 万人に上ります。これは、世界最大級の消費者市場の一つです。
欧州市場への進出を目指す日本企業にとって、「欧州の首都」としてのブリュッセルの役割は重要です。ブリュッセルには、法案の提出などを通じて中心的な役割を担う欧州委員会をはじめ、EU の政策決定機関が置かれています。

EU 共通の政策や規制は市場全体に適用されるため、ブリュッセルは、EU 市場に直接アクセスし、規制の変更を継続的に把握するうえで魅力的な拠点となっています。EU 域内で事業を展開する企業は、EU の規制を理解するだけでなく、政策決定のプロセスを追い、新たな規制の導入を予測することも求められます。
だからこそ、ブリュッセルは世界でも有数の数の外交使節団が集まっているのです。

-デブロイヤーさんは、前職が弁護士とお聞きしました。そのご経験から、こういった点についてもよくご存知なのではないかと思われますが。
私はルーヴェン・カトリック大学（KU Leuven）で法律を学び、卒業後は弁護士として 5 年間働きました。主に、法律実務の 2 つの分野に携わってきました。1 つは、契約や合併・買収などを扱う企業法務で、もう 1 つは、依頼人の代理人として法廷で活動する訴訟業務です。私はこの両方の分野で経験を積みました。振り返ってみると、法律を学んだことで、社会がどのように機能しているのか、そして社会の基盤を形づくっているルールがどのようなものなのかについて、より深く理解できるようになったことを、とてもよかったと思っています。

-弁護士から外交関係のお仕事へとキャリアを広げられたわけですが、外国語を学んだり、海外で暮らしたりすることがお好きな点は、今のお仕事にも大きな強みになりそうですね。実際何か国語話されるのですか？
私は昔から、言語を学ぶことに強い関心を持ってきました。母語であるオランダ語のほかに、フランス語、ドイツ語、英語、そして少し中国語も話します。そして今は、NHK を活用して、毎日日本語を勉強しています。日本語はとても興味深い言語だと思います。なぜなら、漢字に加えて、ひらがなとカタカナという 2 種類の文字体系があるからです。最近覚えた表現の一つに、「〜てもいいですか？」があります。これは英語の「Is it okay if I ...?（〜してもいいですか？）」に当たる表現で、相手に許可を求めるときに役立ちます。

-素晴らしいですね！いろいろな言語を学ぶことを、本当に楽しんでいらっしゃるのですね。SNS への投稿もいくつか拝見しましたが、日本語も少し登場していましたね。デブロイヤーさんの投稿で知ったのですが、9 月の全日空の機内誌でベルギーが特集されていたのですね。
はい、その特集は「ハロー・ベルギー」というタイトルでした。ちょうど先週、ブリュッセル空港が主導するベルギーの観光関連団体の代表団が日本を訪れ、ここ東京でのセミナーや商談会も、そのプログラムの一環として行われました。
ところで、観光といえば、ブリュッセルのグラン・プラスで開催される「フラワーカーペット」をご存じですか？

-はい！有名ですよね。
今年は、ベルギーと日本の外交関係樹立 160 周年を記念して、ブリュッセルのフラワーカーペットに、葛飾北斎に着想を得たデザインが採用されました。10 年前の 150 周年の際にも、日本をテーマにした特別なフラワーカーペットが制作されました。
また、2016 年には、東京の六本木でもブリュッセルのフラワーカーペットが開催されました。
ところで、名古屋にも、ブリュッセルを象徴する最も有名なシンボルの一つである、小便小僧の像があることをご存じでしょうか。
こうした文化的なつながりは、両国の間にある緊密な友好関係を反映しています。

さらに、ブリュッセルは、東京都が主催する今年の「SusHiTech Tokyo」に、都市パートナーとして代表団を派遣しました。

-今年の６月には、天皇皇后両陛下も国賓としてベルギーをご訪問されていますし、両国の親密さが伺えますね。デブロイヤーさんは、日本食はお好きですか？
はい！名古屋でしゃぶしゃぶを食べましたし、刺身やラーメンも大好きです。
日本料理は非常に洗練されていると感じます。栄養バランスが良いだけでなく、食材の組み合わせや一人分の量のバランスにも大きな重点が置かれているように思います。そのため、とても健康的な食事のスタイルだと思います。
先日、日本文化についてのポッドキャストを聴いたのですが、その中で「腹八分（はらはちぶ）」という考え方が紹介されていました。これは、おなかがいっぱいになるまで食べるのではなく、満腹になる手前の８割程度で食事を終えるという考え方です。私はこれをとても興味深く感じました。
9 月は雨の日がかなり多かったので、今度の連休には東京のいろいろな場所を巡り、さらにおいしい日本料理を楽しむことを心待ちにしています。

-「腹八分」と言う考え方まで興味を持たれているとは、とても素敵ですね。休日には、東京のさまざまな場所を訪れて、もっといろいろな東京を見てみたいという好奇心もお持ちなのですね。日本での滞在を満喫されている様子が伝わってきます。最後に、座右の銘を教えていただけませんか。
私の座右の銘は、「起業家のマインドセット」です。起業家は数多くの困難を乗り越え、一つのシンプルなアイデアから新たな価値を生み出します。そして、その価値を製品やサービスという形で市場に送り出し、自らの経験や思いを語ることで、人々に感動や刺激を与えます。
また、人と人とのつながりを大切にし、さらなる成長や成功につながるネットワークを築いていきます。起業家は、困難な時期を成長の機会と捉え、常に新たな挑戦を続けます。私はこれまでずっと、こうした起業家精神に勇気とインスピレーションをもらってきました。

-今日は、貴重なお話をありがとうございました。デブロイヤーさんの前向きな姿勢と、新しいことに挑戦し続ける姿がとても印象的でした。これからも日本とベルギーの架け橋として、ますますご活躍されることを心よりお祈り申し上げます。

＜会員様の情報＞

・住友化学グループ様が COPYR 社から天然ピレトリン農業領域を扱う子会社を取得しました。
これにより、天然由来農薬の製品ポートフォリオを拡充し、EMEA（欧州・中東・アフリカ）地域における顧客及びパートナーへの提供価値を高めることが期待されます。持続可能な農業戦略のもと、同地域での事業基盤を強化し、今後の成長を図るとしています。



＜除虫菊畑＞

皆様の今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

＜各関係機関と組織から＞～10 月から 2027 年 1 月までのイベントやニュース～

＊ベルギー大使館

10/1　フランダース政府投資貿易局（FIT）、ベルギー王国フランス語共同体政府 国際交流振興庁（WBI）、ベルギー王国ワロン地域政府 貿易・外国投資振興庁（AWEX）、および駐日オランダ大使館との共催により、日本、ベルギー、およびオランダを代表する研究者や政策立案者を招き、重力波観測所の将来に関するワークショップを開催しました。欧州と日本の科学協力の展望について意見交換が行われました。今後も国際連携を強化し、最先端研究を推進していきます。

10/3　京都にて、マース・ライン欧州地域（EMR）、駐日オランダ大使館、フランダース政府投資貿易局（FIT）、ベルギー王国フランス語共同体政府 国際交流振興庁（WBI）、ベルギー王国ワロン地域政府 貿易・外国投資振興庁（AWEX）と共催で、重力波観測所とアインシュタイン・テレスコープに関する政策カンファレンスを開催しました。科学・技術革新・国際協力について活発な議論が展開されました。



10/15　日本・ベルギー友好 160 周年を記念する #ベルギーデー が、関西大学で開催されました。 エヴラー大使は学長および国際交流担当の先生方と懇談し、ベルギーと EU におけるジェンダー政策について講演を行いました。ベルギー映画『模範社員』も上映し、関西大学で学ぶベルギー人学生との懇親会も開催しました。

10/19　ベルギーデーの一環として、エヴラー大使は午前中、金沢市長を表敬訪問しました。今年、姉妹都市提携 55 周年を迎えた金沢市とゲント市は、10 月 5 日にゲントで新たな協力協定を締結しました。午後には、金沢大学でエヴラー大使による講演会とベルギー映画『模範社員』の上映会が開催され、多くの学生が参加しました。また、金沢市で学ぶベルギー人留学生との交流も行われました。

10/21～10/27　日本・ベルギー友好 160 周年を記念して、あべのハルカス近鉄本店にて「ベルギーフェア」が開催されました。ベルギーのグルメ・音楽・芸術を多くの来場者にお楽しみいただきました。







11/4　日本・ベルギー友好 160 周年を記念して、#ベルギー国立管弦楽団 が 23 年ぶりに日本ツアーを行いました。10 月 28 日に名古屋からスタートしたツアーは、11 月 4 日に東京のサントリーホールで高円宮妃殿下のご臨席のもと、素晴らしいコンサートをもって幕を閉じました。





＊ルクセンブルク東京貿易投資事務所

10/5(月)-7(水)　**Global Startup Expo 出展・公式サイドイベントを開催**



大阪で開催された国際ディープテックイベント「GLOBAL STARTUP EXPO (GSE) 」に参加しました。イベントに合わせ来日したルクセンブルクの衛星通信テクノロジー企業 OQ Technology がブースを出展したほか、最終日には「宇宙ビジネスのハブ ルクセンブルク」と題したセッションへ弊所中丸とともに登壇しました。また 6 日には GSE 公式サイドイベントとして大阪府と共催のネットワーキングランチ「ルクセンブルクが GSE にやってくる！」を開催し、50 名以上の参加者にお越しいただきました。

10/10(土)-12(月)　**世界縁日へ大阪・関西万博ルクセンブルクパビリオンがブース出展**



大阪・関西万博閉幕 1 周年を記念したイベント「COMMONs 2026」の一環で中之島で開催された野外イベント「世界縁日」に、2025 年大阪・関西万博ルクセンブルクパビリオンがブース出展しました。ブースではルクセンブルクパビリオンで提供された「ルクセンブルクロール」やルクセンブルク産のワインが販売され、大盛況となりました。

10/13(火)-16(金)　**CEATEC 2026 ステージ登壇**



幕張メッセで開催された展示会「CEATEC 2026」に、ルクセンブルクのモビリティ・車両管理ソフトウェア企業 UFOFLEET と共に登壇しました。UFODRIVE グループの一員としてルクセンブルクに拠点を置く同社より、ルクセンブルク現地での創業やグローバル市場展開のリアルが紹介されました。

10/28(水)　　**馬場雅弘氏、ルクセンブルク大公国功労勲章コマンドゥール章を受章**



東京都内において、CERATIZIT Japan 前社長の馬場雅弘氏に対するルクセンブルク大公国功労勲章コマンドゥール章の叙勲式が執り行われました。馬場氏は 1984 年よりルクセンブルクの超硬工具材料メーカーCERAMETAL との関係構築を経て、1988 年に CERAMETAL Japan（後の CERETIZIT Japan）の社長に就任。40 年以上にわたるルクセンブルクと日本の経済関係の発展への貢献が高く評価され、今回の受章に至りました。叙勲式では、レーシュ駐日ルクセンブルク大使より、馬場氏の長年にわたる献身と功績に対する深い感謝と敬意が表されました。

11/4(水)　　**G-SFIA 2026 宇宙×金融カンファレンス開催　弊所は Bronze スポンサーとして参加**



株式会社 FINOLABO 主催の本イベントは、宇宙産業と金融・投資の融合をテーマに、基調講演やパネルディスカッション、スタートアップ・ピッチを通じて、宇宙ビジネスの新たな可能性を探るイベントです。夕方からのルーフトップナイトでは、弊所提供のルクセンブルクワインが振る舞われます。是非ご参加ください。

イベントウェブサイト：
https://finolab.tokyo/jp/events/g-sfia2026/

参加お申込み（Peatix）：https://g-sfia2026.peatix.com/

2027 年は、日本とルクセンブルクの外交関係樹立 100 周年という節目の年となります。この記念すべき一年を通じて記念行事の開催や、横浜で開催される 2027 年国際園芸博覧会への出展を予定しています。会場に足をお運びいただけましたら幸いです。

＊ブリュッセル首都圏政府貿易投資局

10/7　　**新代表就任のレセプション**



ブリュッセル首都圏政府貿易投資局駐日代表部の新代表に就任したマティアス・ドゥブロイヤーをご紹介するレセプションがベルギー大使で開催されました。ブリュッセル首都圏のパートナーである様々な方達と交流する素晴らしい機会になりました。

<Mr.Debroyer, Belgium Ambassador, Ms.Miyake>

10/22　**EPPA 社イベント**

ブリュッセルのコンサルティング会社、EPPA 社が大使館で「戦略的対話　‘日本 EU 戦略的協力:日本企業にとっての機会‘」セミナーを開催し、 我々のオフィスからマティアス・ドゥブロイヤーがパネルディスカッションに参加しました。 イベントでは明快なプレゼンテーションに加え、オープンな意見交換や質疑応答での活発な議論が行われました。



＊ベルギー王国ワロン地域政府貿易・外国投資振興庁

ベルギー・ワロン地域の左官材料メーカー、Beal International 社が、BLCCJ 主催の「日本輸出大賞 2026-2027」を受賞しました。同社の左官仕上げ材「MORTEX®」は、強度・防水性・柔軟性などに優れ、床や壁、什器など幅広い用途に使用されています。日本の伝統的な左官職人技の継承と、女性への技術普及に取り組む姿勢が高く評価されました。受賞おめでとうございます！

ベルギー文学研究の一環として、「第 4 回ベルギーフランス語文学翻訳会」が関東（台風接近の為オンライン）と 10 月 11 日に関西（京都の関西日仏学院）の 2 会場で開催されました。関西会場には、絵本作家・イラストレーターのジュリア・ヴェトリ氏も参加し、文学関係者らと交流しました。現代文学、漫画、絵本など幅広い分野から提案された 10 作品について、参加者が翻訳の可能性を検討しました。

10/3-11/2　今年で第 5 回目となる「京都文学レジデンシー」が始まりました。ベルギー・フランス語圏からは、ブリュッセルを拠点に活動する児童書作家・小説家のジュリア・ヴェトリ氏が参加しています。国内外の 8 名の作家・詩人・翻訳者らが市民との交流イベントも開催されています。オープニングフォーラムでは「すべての道はローマに通ず？」をテーマに、執筆の目的や創作の過程について、招聘作家たちが活発な意見交換を行いました。

＊BLCCJ（ベルギー・ルクセンブルグ商工会議所）

OCTOBER：

・10/6　 商工会議所間合同 若手プロフェッショナルスピードネットワーキングイベント

・10/9　 日本輸出大賞　審査員プレゼンテーション

・10/13 ビア・ギャザリング ～日本語で話しましょう！～ @ ベルジアン ブラッスリーコート アントワープポート

・10/19 商工会議所間合同 EU カクテル 2026

・10/22 ウェビナー「Bridging BeLux and Asia-Pacific: Insights from Regional Trade Agencies」





・10/24 第二回 BLCCJ 5K ファン・ラン & ネットワーキング
・10/27 日本語ウェビナー「国際商業会議所(ICC)と ICC 日本委員会ー国際ビジネスでの活用」

NOVEMBER：

・11/9　ビアギャザリング @ L'abreuvoir トラフ
・11/24 ウェビナー「Behind the Scenes of Building Across Asia」（ショーテックス日本株式会社 登壇）
・11/27　BLCCJ ガラ・パーティ 2026 @ コンラッド東京



DECEMBER：

・12/2　年末のビア・ギャザリング　@ BBW 新宿
・12/2 - 12/6　ベルギーマルシェ出店 @ BBW 新宿
・12/10　日本輸出大賞　授賞式
・12/15　BLCCJ 年次総会 & 懇親会

JANUARY 2027：

・1/30　第 11 回 合同商工会議所 スキー&スノーボード ウィークエンド

以上

BLMC　オフィス・マネージャー
井宮　さおり